

# 著者について

## テリ N. タラン

イリノイ州シカゴのナショナル・ルイス大学、マコーミック保育リーダーシップセンター、マイケル W. ルイス委員長兼上級政策顧問。ナショナル・ルイス大学幼児教育教授。公共政策部門でセンターを代表し、幼児教育・保育と施設運営について地方、州、国の政策立案者による行動を促している。マコーミックセンターの季刊研究誌の編集者でもある。全米幼児教育協会 (NAEYC) の認証システムの常務取締役の経験がある。

ノースウェスタン大学で法律の学位を取得し、ナショナル・ルイス大学で成人・継続教育の博士号、保育リーダーシップおよび権利擁護の修士号を取得した。研究対象は、保育リーダーシップ、保育人材開発、組織統合、および保育の質評価である。

他の共著書など；BAS (=the Business Administration Scale for Family Child Care 家庭的保育管理運営評価スケール)、BAS スペイン語版、*Building on Whole Leadership*、報告書 *Who's Caring for Kids? The Status of the Early Childhood Workforce in Illinois and Closing Gap* (『誰が子どものケアを担うか？ イリノイ州の保育労働力供給の現状と問題の解決』)。

## ジル M. ベラ

地方自治体や州で、保育リーダーシップのコンサルティングとトレーニングを行っている。ナショナル・ルイス大学で成人・継続教育の博士号を取得し、イリノイ大学アーバナシャンペーン校で特殊教育・早期介入の修士号と、児童発達の学士号を取得した。

マコーミック保育リーダーシップセンターで専門的研修部局長および助教授として勤務当時は、保育リーダーシップのコンサルティング、複数の評価ツール実施の監督、トレーニングの企画・実行を行った。また、早期介入の専門家、トレーニング専門家、幼児教育の教師の経験がある。組織風土、保育労働力、組織作り、保育リーダーシップに関心を持っている。

他の共著書など；BAS、*A Great Place to work*、*Building on Whole Leadership*、*Inspiring Peak Performance*、Zoom 講習；保育リーダーシップトレーニングが役割認識・仕事のパフォーマンス

ンス・キャリアの意思決定に及ぼす影響について、Director's Toolbox Management シリーズ中のトレーナーの手引き数冊。

### ポーラ・ジョルデ・ブルーム (2018年没)

マコーミック保育リーダーシップセンター創設者兼初代事務局長、ナショナル・ルイス大学幼児教育名誉教授。

保育リーダーシップと施設運営に関する国内有数の専門家の1人として、州、国内、国際会議で数多く基調講演を行い、専門組織や州機関のコンサルタントでもあった。スタンフォード大学で博士号を取得し、多くの雑誌記事や広く読まれている書籍を執筆した。

著作：*Avoiding Burnout*、*Blueprint for Action*、*Circle of Influence*、*Making the Most of Meeting*、*Workshop Essentials*、*Measuring Work Attitudes*、*From the Inside Out*、*Leadership in Action*。

ECWES (=Early Childhood Work Environment Survey 保育労働環境調査) と ECJSS (=Early Childhood Job Satisfaction Survey 保育職満足度調査) を作成した。PAS 初版・第2版の著者の1人であり、第3版にも影響を与えている。

## ●訳者紹介

### 里橋 玲子 (うずはし れいこ) [翻訳: サブスケール 4、9 担当]

大阪総合保育大学大学院特任教授、博士(学術)、ECERS-J 主宰。主な訳書に『新・保育環境評価スケール①3歳以上』(2016)、『新・保育環境評価スケール②0・1・2歳』(2017)、『保育コーチングーECERSを使ってー』(監訳、2020)、主な著書『チャイルドケア・チャレンジーイギリスからの教訓』(2007)、いずれも法律文化社より出版。公開保育によるスケール評価実習の講師、調査のための評価スケールアセッサー養成トレーナー。

連絡先 r-uzuhashi@jonan.ac.jp

### 鈴木 健史 (すずき けんじ) [翻訳: サブスケール 1、6、8 担当]

東京立正短期大学現代コミュニケーション学科幼児教育専攻准教授。保育ファシリテーション実践研究会主宰。主な著書に、「園内研修と会議が劇的に変わる保育ファシリテーション」(フレーベル館、2023)、「現場でよくある悩みを解消 保育リーダーのための職員が育つチームづくり」(中央法規出版、2023)、「マネジメント (MINERVA 保育士等キャリアアップ研修テキスト 7)」(編著、ミネルヴァ書房、2020)。

### 岩 渕 善美 (いわぶち よしみ) [翻訳: 付記担当]

平安女学院大学教授、博士(エネルギー科学)、専門は科学教育、環境教育。著書に、『環境(実践 保育内容シリーズ3)』(共著、一藝社、2018)など。科学遊び、理科実験教室などに携わる。

### 亀 山 秀郎 (かめやま ひでお) [翻訳: サブスケール 2、5 担当]

学校法人七松学園認定こども園七松幼稚園理事長・園長。『保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園実習』(編著、ミネルヴァ書房、2018)、『保育に活かすSDGs/ESD』(共著、かもがわ出版、2023)。

OECDのStarting Strong VII: Empowering Young Children in the Digital AgeにおいてOECD幼児教育・保育ネットワークメンバーとして協力。

### 岡 部 祐輝 (おかべ ゆうき) [翻訳: サブスケール 3、7 担当]

幼稚園型認定こども園高槻双葉幼稚園教頭。京都府公立小学校勤務を経て現職。(一社)大阪府私立幼稚園連盟教育研究所所長、保育者養成校にて非常勤講師を務める(2023年現在)。著書は『子どもと保育者でつくる育ちの記録ーあそびの中の育ちを可視化するー』(分担執筆、日本標準、2020)など。幼小接続および連携、保育における環境構成、子どもの自己制御機能の育ち等に関心を持つ。

### 高 根 栄美 (たかね えみ) [翻訳: 謝辞〜使用の手引き担当]

大阪総合保育大学准教授。著書に、『保育の計画と評価』(共著、ミネルヴァ書房、2021)、『失敗から学ぶ保護者とのコミュニケーション 保育わかばBOOKS』(共著、中央法規出版、2018)、『保育原理ーはじめて保育の扉をひらくあなたへー』(共著、みらい、2019)等。保育者養成および保育者研修・園内研修の講師として保育実践に関わる。

## ●大阪総合保育大学総合保育研究所〈保育環境評価スケールプロジェクト〉メンバー (訳者以外・2023年現在)

伊 藤 達 哉 大阪総合保育大学大学院前期博士課程所属 大阪健康福祉短期大学特任講師

高 松 奈 未 大阪総合保育大学大学院前期博士課程所属 ひだまり保育園園長

長 崎 元 気 大阪総合保育大学大学院前期博士課程所属 学校法人山添学園 幼保連携型認定こども園みゆき西こども園園長

幸 元 裕 大阪総合保育大学大学院前期博士課程所属 みゆきっこつばめ保育園・みゆきっこそら保育園統括施設長

山田千枝子 学校法人山添学園 幼保連携型認定こども園 御幸幼稚園・さくらんぼ保育園統括園長